

参加蔵元

兵庫・播磨

新潟・越後

白鷺の蔵

◆田中酒造場

天保6年(1835年)創業。伝統の技法「石掛式天秤搾り」による酒づくりと併せて、地元農家との取り組みによる新たな酒づくりも目指しています。

今代司酒造
imayo tsukasa

◆今代司酒造(新潟市中央区)

明和4年(1767年)創業、日本三指の花街新潟の食通に鍛えられた酒蔵。「錦鯉」ボトルをはじめ、「IMA牡蛎のための日本酒」等ボトルデザインも秀逸。

龍力

◆本田商店

大正10年(1921年)創業。龍力ブランドをはじめ、山田錦を極めた大吟醸のパイオニアとして水と土にこだわった酒づくりに取り組んでいます。



◆越後鶴亀(新潟市西蒲区)

明治23年(1890年)創業、人々に喜ばれる酒を目指し、銘もわかりやすくおめでたい証票をと思い、「鶴亀」という名を付けました。宮中晩さん会などに、皇室献上している。

雪彦山

◆壺坂酒造

寛永6年(1629年)にて創業。酵母の力を引き出す独自の温度管理により日本酒本来のまろやかでじんわりとしたやさしい味わいを実現しています。

妙高山

◆妙高酒造(上越市)

文化12年(1815年)創業、「いがたの名工」杜氏平田正行が米作りから酒造りまでを行い、妙高山系の軟水は気品あるしなやかな雅な趣のある酒を醸す、淡麗でありながら旨味が感じられる酒。



◆君の井酒造(妙高市)

天保13年(1842年)創業。日本酒造りの伝統と技術革新、「山廃造り」にこだわり、「その旨味の為に惜しみなく手をかけること」をモットーに記憶に残る酒造りを続けている。

八重の櫓

◆ヤエガキ酒造

寛文6年(1666年)創業。播州林田の地で行われる伝統の酒づくりは新しい感性で海外にも進出しています。

◆名城酒造

昭和41年(1966年)姫路市内の6つの蔵元が合併して誕生。昔ながらの酒造りに新たなエッセンスを加えていく取り組みを行っています。

清酒 名城



◆柏露酒造(長岡市)

宝暦元年(1751年)創業、旧長岡藩主牧野家から酒蔵を受け継いだ柏露酒造、伝統を守りながら、新しい日本酒の世界を拓く蔵。

播磨・越後の日本酒飲みくらべ

山陽の
日本酒
まったり

4/18(金) 20(日)

■営業時間

18日(金) 午前10時30分~午後6時
19日(土) ※オーダーストップ:午後5時30分

20日(日) 午前10時30分~午後5時
※オーダーストップ:午後4時30分

■本館7階=屋上

屋上へは本館6階催し会場北側の階段よりご入場いただけます。

兵庫県新潟県はお互いに名水米どころとして有名です。播磨、越後の両地域でつくられ、誇りである日本酒。お酒作りの歴史を辿りながら各地域の酒蔵の銘酒を味わい、飲みくらべできるこの機会をお楽しみください。



参加蔵元の自慢の日本酒をチケット(1枚~数枚)にて、飲みくらべ出来る特別な機会です。合わせて酒肴もご用意しております。

[酒肴一例]他にも様々な酒肴をご用意しております。



串かつ盛合せ (4本入) 659円



黒毛和牛しぐれ煮 540円



鉄火巻き寿司 他 399円



カラスカレイの味噌漬け焼 (2切入) 540円~



手羽先の甘唐揚げ (3本入) 486円

いろいろな日本酒の飲みくらべをお楽しみいただけるほか、お気に入りいただいた日本酒のご購入にもお使いいただけます。
※誠に勝手ながら、酒肴品にはご利用いただけません。

前売り日本酒チケット

前売: 2,970円 [当日: 3,300円]
(150円チケット×20枚綴り)

■販売期間: 3月19日(水)~4月15日(火)まで

■販売場所: 本館地階=和洋酒売場
TEL.079-223-5401 [担当: 松本・中田・神田]

◎日本酒 / 1杯
チケット1枚~数枚

※日本酒の銘柄により必要チケット枚数が異なります。

※当日チケット販売: 1枚からチケット販売いたします。1枚165円



山陽電気グループ



山陽百貨店

■主催: 山陽百貨店
■後援: 神戸新聞社

※20歳未満の者の飲酒は法律で禁じられています。※写真はイメージです。当店で20歳以上の年齢であることを確認できない場合には、お酒を販売いたしません。

●表示価格はすべて消費税込み価格です。消費税の円未満の端数処理により、店頭及び広告媒体表示税込価格と領収金額(レシート表示価格)が異なる場合がございます。※商品は数に限りがございます。売切れの際はご了承くださいませ。